

I. 研修について

当科では、白内障、緑内障、網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症・加齢黄斑変性 症など）を中心に眼科の一般的な診療を行っている。午前中は外来診療、火の午前・午後および木の午後は手術、月・水・金の午後は病棟診療が中心となる。手術については、他院から数多く紹介を受けている白内障手術を中心として、網膜硝子体手術にも対応しており、平成 27 年度は白内障手術 489 例、網膜硝子体手術 121 例であった。

眼科研修においては、日常接することの多い疾患の基礎知識、標準的な診察方法や治療法を身に付けることができるよう、丁寧な指導を心がけている。

II. 研修の到達目標

日常診療における眼科の疾患に対して、適切な判断や処置ができることを目的に眼科領域の基本的知識と技術の修得を目標とする。詳細は以下のとおりである。

1. 眼科の基本的診察法の習得
2. 眼科的幾能検査法の手技修得と理解
3. 主な眼科疾患の病態の理解
4. 眼科局所治療薬の種類と仕用法の理解
5. 外傷の初期救急処置ができる
6. 眼科手術治療の原理と方法の理解

III. 医師数〔うち臨床研修指導医講習修了者数〕（平成 29 年 3 月現在）

・常勤医師 3 名 [1 名]

IV. 学会認定医・専門医・指導医（平成 29 年 3 月現在）

日本眼科学会専門医(1 名)

眼科PDT認定医(1 名)

V. 施設認定

日本眼科学会専門医制度研修施設